

分野横断型融合研究のための情報空間・情報基盤の構築

1. プロジェクトディレクター

東倉 洋一

2. サブテーマの構成

- 1) [大規模・異種情報の収集・解析・結合・分類の手法および知識基盤の構築](#)
- 2) [地球・生命などの巨大システム解明のための統合的情報基盤の形成と活用手法の確立](#)
- 3) [コラボレーションとコミュニティ形成のための情報共有基盤とバーチャルラボの構築](#)

3. 平成 17 年度の研究の進捗と成果

全体として概ね計画通りに、基本設計やプロトタイプの構築を実施した。サブテーマ 1 では、環境情報を具体的対象例として、異種情報源をユーザ興味に応じて関連付・提示する利用環境プロトタイプを開発し、また、生命科学研究者間コミュニケーション円滑化のための、固有名称等のジーンアイコン（遺伝子象形文字）記述を提案した。サブテーマ 2 では、生命科学における利用者主導型メタデータ DB システム構築を進め、データ量の増大と多様化に対処が可能なシステムの基本設計を行うとともに、極限環境生物統合データベース構築用の画像処理技術の開発を進めた。さらに、地球観測データの鉛直的統合による「鉛直地球ポータル(Vertical Earth)」のためのデータモデルを提案した。サブテーマ 3 では、研究者の分散環境において、距離の隔たりを感じさせない研究協調が可能な「バーチャルラボ」構築基本ソフト NetCommons1.0.0 を開発し、オープンソース公開した。また、マルチメディア教材共有型 e-Learning システム WebLS の多言語対応、複数 OS 対応等の機能を整備し、大学院教育での実利用に供した。